

【見立て:1】デジタルツイン技術の活用によるライフサイクル管理の最適化 Matterportが提供するデジタルツイン技術は、建物や設備のライフサイクル全体を通じて売上向上、コスト削減、リスク低減に貢献する事例として挙げられます。この技術をファシリティマネジメントに応用することで、物理的な空間のデジタル化が可能となり、リアルタイムでの設備管理や遠隔地からの監視、メンテナンス計画の最適化が実現します。これにより、従来の手法では見えにくかった設備の状態や劣化予測が可能となり、予防保全やコスト効率の良い運用が可能になると考えられます。

【見立て:2】IoT、ロボット、センサーを活用したデジタルFMサービスの提供 株式会社ビルポが提供開始した「デジタルFM」サービスは、ビルメンテナンス業界の人手不足、コスト増、管理負荷増大という課題に対応するための事例です。IoT、ロボット、センサーの活用により、清掃ロボットの導入やエネルギーコストの見直し、清掃最適化などが実現し、ライフサイクルコスト（LCC）を30%削減する成果を上げています。この事例から、デジタル技術の導入がファシリティマネジメントの効率化とコスト削減に直結することが示唆されます。

【見立て:3】デジタル技術を活用した未来志向のファシリティマネジメントの提案 公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会が提言するデジタルトランスフォーメーションを活用した未来志向のファシリティマネジメントは、テレワークの進展やワークプレイスのデジタル化推進などを含みます。これは、新しい働き方やオフィスの在り方をデジタル技術を駆使して形成することを目指しています。この提言から、デジタル技術の活用が、柔軟で生産的なワークプレイスの実現に不可欠であることが示唆されます。

【見立て:4】小売業向けデジタルトランスフォーメーションソリューションの展示 NECがリテールテックJAPAN 2023で展示した小売業向けのデジタルトランスフォーメーションソリューションは、店舗運営の全体最適化を目指す事例です。生体認証、映像分析、音声認識技術の活用により、店舗の状況をデータ化し、タイムリーな顧客対応や作業改善を後押しするソリューションが提供されています。この事例から、デジタル技術の導入が顧客満足度の向上と従業員の作業効率化に寄与することが示唆されます。

【見立て:5】持続可能なまちづくりにおけるDX、SX、GXの事例研究 FM戦略企画研究部会(SCM02)が取り組む「まちづくりにおける持続可能性とFM戦略」のテーマは、サステナビリティトランスフォーメーション、デジタルトランスフォーメーション、グリーントランスフォーメーションの事例研究を含みます。これらの取り組みは、地域課題の解決や情報共有化を促進し、災害時の避難と防災・減災施策にもつながるまちのレジリエンス形成に貢献しています。この事例から、デジタル技術の活用が持続可能なまちづくりと地域社会のレジリエンス向上に貢献することが示唆されます。

【見立て:6】大学キャンパスのファシリティマネジメントにおけるDXの実践 キャンパスFM研究部会(SCM06)が進める大学の新たな教育展開と社会ニーズに応えるFMの実践事例は、施設投資の持続可能な管理やオンライン授業の導入、カーボンニュートラルへの取り組みなどを含みます。これらの活動は、大学経営における課題に対応するための先進事例として提供されています。この事例から、デジタル技術の導入が大学キャンパスの持続可能な運営と教育の質の向上に貢献することが示唆されます。